2026年度 枚方市人権教育研究協議会・枚方人権まちづくり協会 共催 人権講演会

『学校に行かなかったぼくたちから伝えたいこと』～不登校の先にある未来～



日時 11月18日(水)
午後3時～5時（2時30分受付開始）

場所 枚方市総合文化芸術センター別館
誠信建設工業 メセナホール

定員 先着200名 無料（申込が必要です）

講師 棚園 正一（たなぞの しょういち）さん（漫画家）

申込 10月 1日（木）から

午前10時から、電話・ファクス・専用フォーム（⇒）で
枚方人権まちづくり協会（下記電話・FAX）まで！

専用フォーム

❖なお、お申し込みには、イベント名・参加者全員の氏名（フリガナ）・電話番号が必要です。

電話 072-844-8788 **FAX** 072-844-8799

◆保育（生後6か月から就学前児・先着5人）・手話通訳・要約筆記・補聴システム・点訳資料あり。いずれも無料。ご希望の方は、11月6日(金)までにお申し込みください。

◆諸事情により開催中止となる場合は、「枚方人権まちづくり協会」のホームページでお知らせします。（https://www.hirakata-jinken.com）

棚園 正一 さん（漫画家）

◆1982年、愛知県生まれ。小学校から中学校までの9年間、不登校の時間を過ごす。13歳の時に漫画家・鳥山明氏に出会い、漫画家を志す。大学入学資格（現・高卒認定）を取得後、名古屋芸術大学に進学。自身の不登校経験をもとにした著書に、『学校へ行けない僕と9人の先生』『学校へ行けなかった僕と9人の友だち』（双葉社）、『マンガで読む学校に行きたくない君へ』（ポプラ社）などがある。

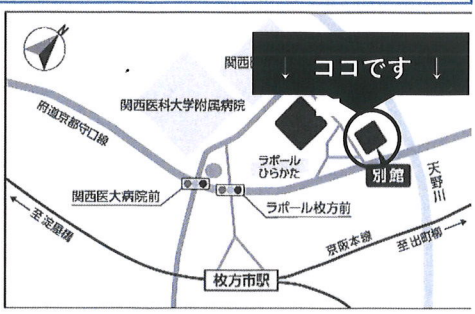
現在は漫画制作とあわせて、自身の経験をもとに、不登校の子どもや保護者、支援者に向けた講演活動を全国で行っている。

愛知県大府市にて、長期欠席支援の啓発サポーター「虹の架け橋サポーター」に就任。

棚園さんからのメッセージ

◆不登校をテーマに、全国で講演活動を行っています。私は小学校1年生から中学校3年生までの9年間、不登校の時間を過ごしました。講演では、当時の体験を「こうすればよくなる」という形で語るのではなく、学校に行っていなかった頃の気持ちや、言葉にできなかった感覚を、今の視点から静かにお話ししています。

不登校は、特別な誰かの問題ではなく、身近なところで起きている出来事だと感じています。この講演が、皆さんのそばにいる大切な人の気持ちを考える、ひとつのきっかけになれば幸いです。



京阪電車枚方市駅から徒歩約7分

枚方市人権教育研究協議会 ・ 特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会